




人材支援事業（障がい者支援、出所者支援、生活困窮者食糧支援（フードバンク））・BPO事業（官公庁を中心としたアウトソーシング受託）

取組開始時期	2018年～	取組の カテゴリー	地域活性化	応募部門 (○を付ける)		PF会員間連携部門	○	一般部門	
--------	--------	--------------	-------	-----------------	--	-----------	---	------	--

1. 団体名	FUTUREFLIGHTグループ 株式会社FF 株式会社キャリアエ디션	2. 連携先 の団体	障がい者支援：札幌市障がい者協働事業→札幌市 障がい者就労支援→厚生省 受刑者・出所者支援：出所者→法務省・日本財団加入受刑者→法務省（札幌刑務所薬物コー ディネーター担当）生活困窮者食糧支援→NPO法人イコロさっぽろ
--------	---	---------------	---

3. 取組 目的	ビジョン「Believe in people's potential and solve social problems（人の可能性を信じて社会問題を解決する）」を体現する企業として障がい者・難病者・出所者・シングルマザー・シニアなどの人材に対し、支援の取り組みを行っております。社会問題を解決していく事と同時に総人口が減少していく中で、労働力確保の施策を行う。	4. 関連する ゴール	障がい者支援  受刑者・出所者支援  生活困窮者食糧支援 
-------------	---	----------------	--

5. 取組経緯	障がい者支援→総人口に占める障がい者の割合の高さ 出所者支援→無職者の50%以上が再犯 食糧支援→障がい者・出所者・シングルマザーなど生活困窮者の増加（コロナ禍）
---------	---

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

食料支援
A出所者・障がい者等への食糧支援
B生活困窮者への食糧支援 C企業への食糧廃棄ロスへの呼びかけ



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

貧困や格差といった以前からの社会課題がコロナによってさらに悪化をしており、脆弱な立場にある人ほど困窮しやすい状態

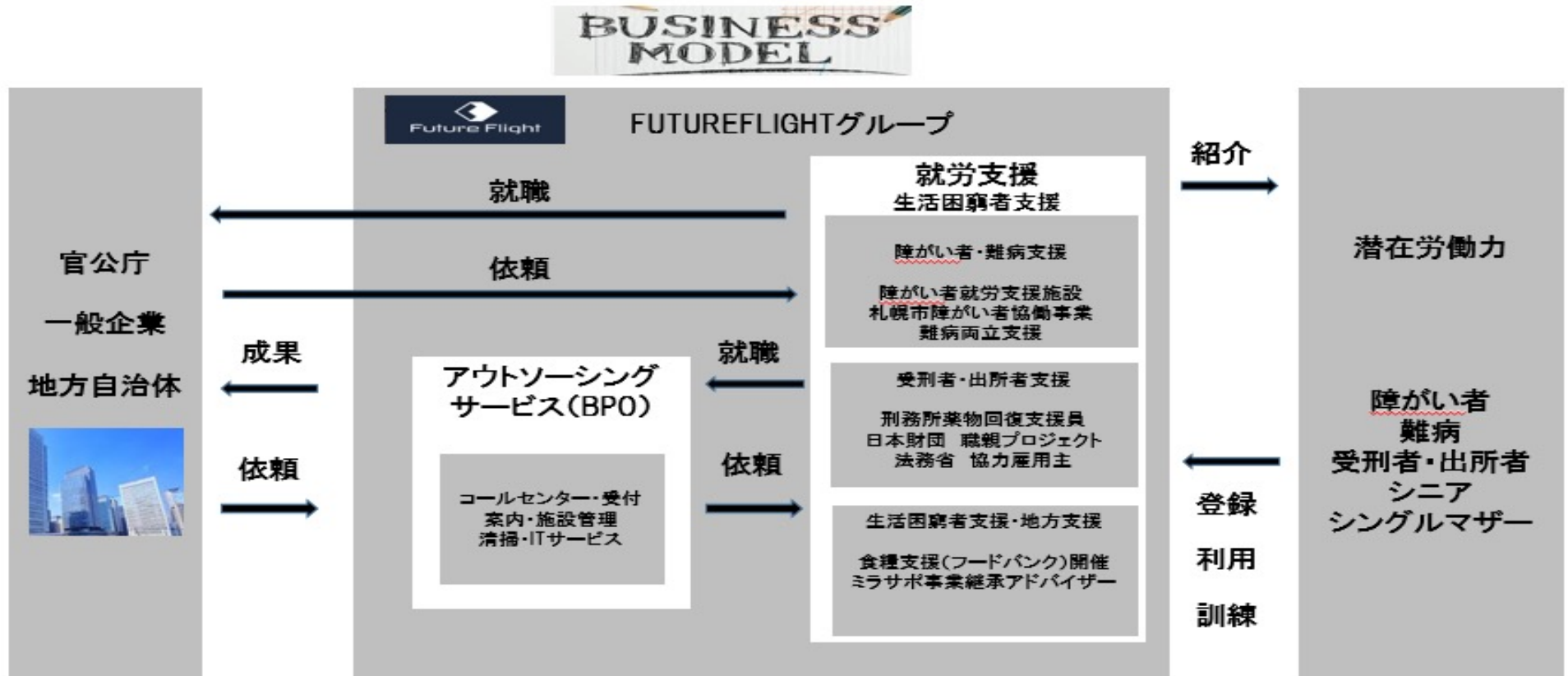
ステークホルダーとの連携

- 障がい者支援：札幌市障がい者協働事業→札幌市 障がい者週路支援→厚生省
- 受刑者・出所者支援：出所者→法務省・日本財団加入受刑者→法務省（札幌刑務所薬物コーディネーター担当）
- 生活困窮者食糧支援→NPO法人イコロさっぽろ

モデル性・波及性

- モデル①障がい者支援 A障がい者の就労訓練 B障がい者就労先確保 Cコロナ禍におけるテレワークでの在宅ワーク・就労訓練
モデル②受刑者・出所者支援 A刑務所薬物回復支援 B出所者入社 ③出所者の協力雇用主への参加アピール
モデル③食料支援 A出所者・障がい者等への食糧支援
B生活困窮者への食糧支援 C企業への食糧廃棄ロスへの呼びかけ

7.取組詳細 (取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等)



FUTUREFLIGHTグループは「Believe in people's potential and solve social problems (人の可能性を信じて社会問題を解決する)」を体現する企業として障がい者・難病者・出所者・シングルマザー・シニアなどの人材に対し、支援の取り組みを行っております。社会問題を解決していく事と同時に総人口が減少していく中で、労働力確保の施策を行っております。